

## 武蔵小杉駅南口地区西街区市街地再開発事業・武蔵小杉駅ビル整備 平成 25 年

- ・武蔵小杉駅南口地区西街区市街地再開発事業については、都市再開発法に基づき、広域拠点の駅前にふさわしい都市基盤施設と魅力ある複合建築物の整備を一体的に推進。建物低層部には商業・業務施設及び新中原図書館を中心とした公共公益施設を導入。
- ・東急線武蔵小杉駅改札口及び南武線連絡通路と直結の「武蔵小杉駅東急スクエア」を中心に駅舎や線路で東西・南北に分断していたまちをつなげ、賑わいと活気にあふれたまちづくりを推進。

### ○事業概要

地区面積：1.4 ha  
 延べ面積：67,720 m<sup>2</sup>  
 高さ：約150 m  
 階数：地上39階、地下2階  
 主な用途：住宅、店舗、変電所  
 ※新中原図書館  
 ※認可保育園  
 (東急スクエア  
 平均来客者数 5.5 万人/日)  
 (新中原図書館平均利用者数  
 6 千人/日) 約 2.7 倍増



西街区竣工写真

## 鷺沼駅北口改札口の開設 平成 23 年

- ・鷺沼駅北側利用者の利便性向上を目的に、平成23年3月に、東急電鉄が北口改札口を新設。
- ・北口改札口の開設に併せて、歩行者の安全性確保のため、市が駐輪場の移設及び歩道整備を実施



整備前

整備後

## 梶が谷駅交通広場の整備 平成 18 年

- ・交通広場の整備に向け、市と東急電鉄が連携を図り、地元の市民組織である「梶が谷駅まちづくり協議会」による市民提案を踏まえるなど、地域、企業、行政の協働による交通広場を整備



## 武蔵小杉駅へのホームドアの整備 平成 26 年度

- ・視覚障がい者等の鉄道駅のホームからの転落事故、列車との接触事故が多発していることを踏まえ、転落事故や接触事故の防止効果の高いホームドアを整備（東急東横線）
- ・東急電鉄は、2020年を目標に東横線、田園都市線、大井町線全駅でのホームドア設置することを決定



設置後

設置前  
 (武蔵小杉駅  
 東急東横線  
 上りホーム)

## 東急田園都市線複々線化事業に伴う高架下利用 平成 26 年

- ・東急田園都市線複々線化事業により生まれた空間を効果的に活用し、地域課題に対応するため、二子新地駅前高架下に駅前駐輪場や地域要望の多かったスーパーマーケットを整備



二子新地駅駐輪場

収容台数：697台  
 運営形態：定期利用、一時利用

## 宮前平駅南側駅前広場の歩行者利便性向上 平成 26 年

- ・宮前平駅南側の駅前広場について、バス停とモニュメントの間の歩行空間が狭くなっており、市の車座会議などでも要望が出されたことを踏まえ、東急電鉄が、植栽帯を縮小して前面の歩行空間を拡張し、歩行者の利便性向上を図る



整備前

整備後

## リノベーション事業による既存ストック活用 平成 27 年

- ・既存ストックを活用したリノベーション事業により、既存建物の資産価値向上とまちの魅力向上など都市のリノベーションを図るとともに、川崎市の重要課題である「待機児童の解消」に向け、保育園整備を実現



所在地：宮前区小台二丁目  
 用途：寄宿舎、認可保育園